

第二條 前條ノ場合ニ於テハ難破ノ大小ニ拘ハラヌ水上警察所或ハ警視分署又ハ巡查交番所へ便宜報知スヘシ

第三條 難破船具及ヒ積荷等ハ明細品書ヲ作り紛失セサル様保護ノ手續ヲ爲スヘシ但保安物ハ勿論總テ難破船ニ係ル物品ニ對シ不正ノ所爲アルヲ看認メタル時ハ速ニ其事由ヲ水上警察所或ハ警視分署又ハ巡查交番所へ届出ヘシ

第四條 難破船ニ係ル沈没品等有之節ハ明細品書ヲ以テ水上警察所或ハ警視分署又ハ巡查交番所へ届出ヘシ

第五條 乗組人等死傷アラハ必ス警視官吏ノ檢視ヲ受ルモノトス

○達 明治十二年十月二十八日  
第二十三號

難破船届出方ノ義ニ付明治七年第四百號及九年第七十八號公達ノ趣モ有之候處自今西洋形商船ニ限り難破及ヒ衝突ニ罹ルモノ左ノ難形ニ照準其都度可届出旨該船所持人へ無洩可相達此旨相達候事

難形

- 一 汽船又ハ帆船ノ名
- 一 船長ノ本貫氏名並海技免狀ノ等級運轉手同斷
- 一 汽船ナラハ機關手同斷

一 遭難ノ年月日時分 夜陰ナレハ燈火ノ有無

一 遭難ノ場所 航海又ハ碇泊中

一 難破ノ因由 暴風ノ爲メ或ハ暗礁ニ觸レ若クハ衝突

一 難破ノ景況 皆破或ハ沈没若クハ大破又ハ小破

一 海員並乘客死傷ノ有無

一 積荷存否

○達 明治十八年一月十九日  
號 外

伊豆七島浦役人

漂着物取扱方ノ義ハ明治八年第六十六號公布ニ依ルヘキノ處自今其島ニ限り船舶並持主ノ尋來ルヘキ見込アルモノハ六ヶ月其他ノ漂流物ハ一ヶ月ヲ經テ公賣ノ上代價ヲ以テ現物ト見做シ處分スヘシ

○布達 明治十四年五月十八日  
甲第二十六號

畜犬取締規則左ノ通改定來ル七月一日ヨリ施行候條此旨布達候事

畜犬取締規則

第一條 畜犬ハ其主ノ住所姓名ヲ詳記シタル頸環又ハ牌子ヲ附ケ置ク可シ

第二條 畜犬傳染病ニ罹リタル兆候アルカ又ハ狂猛ニシテ人畜ヲ傷害スルノ虞アル者ハ

畜主ニ於テ殿ニ之ヲ繋留シ逃走ノ患ナカラシム可シ但傳染病ノ兆候アル時ハ速ニ所轄警察署ニ届出ツ可シ

第二條 警視廳ハ其傳染病タルヲ確認スル時ハ畜主ト警察官吏ト立會ノ上之ヲ撲殺セシムルコトアル可シ但撲殺シタル者ハ之ヲ燒棄セシム

第四條 畜犬ヲ失ヒ之ヲ求メント欲スル者ハ其大小毛色種類等ヲ詳記シ所轄警察署ニ届出ツ可シ

第五條 警視廳ハ無標ノ犬ノ徘徊スルヲ捕ヘ廳内ノ獸欄ニ入レ置キ一週間畜養セシム

第六條 前條ノ迷犬其主之ヲ請フ者アレハ一日ニ付金二十五錢ノ養料ヲ拂ハシメテ後之ヲ還付ス若シ其一週間内ニ請フ者ナキ時ハ警視廳ニ於テ之ヲ賣却シ以テ養料及獸欄修繕等ノ費ニ充ツ

○達 明治十四年五月十八日  
第五十六號

畜犬處分心得並獸欄規則左ノ通相定候條此旨相達候事

畜犬處分心得

第一條 凡ソ畜犬處分ハ本年甲第二十六號布達取締規則ニ照準スヘシ

第二條 畜犬傳染病ニ罹リタル兆候アルカ又ハ狂猛ニシテ人畜ヲ傷害スルノ虞アルヲ認知スル時ハ取締規則第二條ニ照シ畜主ヲシテ怠慢ナキ様注意セシムヘシ

第三條 傳染病ニ罹リタルヲ確認スル時ハ取締規則第三條ニ依リ處置スヘシ尤外國人ニ關係スル時ハ豫メ本廳ノ認許ヲ受クヘシ

第四條 無標ノ迷犬徘徊スル者アル時ハ本廳第二局ニ送付スヘシ濫リニ撲殺スルヲ得ス  
獸欄規則

第一條 無標ノ迷犬ヲ一時寄置スルカ爲メニ本廳構内ニ獸欄ヲ設置ス

第二條 無標ノ迷犬ハ獸欄ニ入レ一週間之ヲ畜養ス但入欄ノ順次ヲ逐ヒ番號札ヲ附スヘシ

第三條 限内迷犬ノ取戻ヲ請フ者アル時ハ一日ニ付金二十五錢ノ養料ヲ拂ハシメテ後チ之ヲ還付ス

第四條 獸欄ノ内外ハ時々掃除シ不潔ナキ様注意スヘシ

第五條 獸欄ノ構成及畜養方等ハ別ニ之ヲ定ム

○達 明治十五年十月十一日  
第一百一號  
警察署及巡查屯所ニ於テ臨時其管内限リ野犬撲殺申付來候向キ有之趣右ハ不都合ニ付自今不相成候自然狂猛ノ野犬有之巡查ニ於テ獲殺シ難ク撲殺人ヲ要シ候節ハ第一局へ可申出候但同局ヨリ出署シタル撲殺人へハ該犬ヲ指示シ猥リニ他犬ヲ撲殺セサル様注意スヘシ此旨相達候事